給食だより

平成 30 年５月　イートンちどり保育園

　風薫る５月さわやかな季節になりました。子どもたちも新しい環境になれつつ元気に園生活を送っています。給食室では、毎日期待が膨らむようなおいしい給食作りを心掛けています。
みんなでいっしょに食べる楽しさを味わってください。
お子さまの食についての悩みや質問などありましたら、気軽にお声をかけてください。

ちまきと柏餅

５月５日はこどもの日で「端午の節句」。もともと中国から伝わった五節句の一つで、ちまきや柏餅を食べます。ちまきは中国の聖人「屈原（くつげん）」の忌日が５月５日にあたり、とむらうためにお米を笹で巻いて蒸したものを供えたのが始まりといわれています。柏は、新芽が出るまで葉が落ちないことから、後継者が絶えない縁起の良い木であり、また葉の強い香りが邪気を払うとされ、餅を柏の葉に巻いて食べる風習が生まれたといわれています。

給食作りへの思い

給食室では、子どもたちへの愛情はもちろん、子どもの口に入るものを作るという重要な役割にやりがいと責任を感じて毎日作っています。栄養バランスや安全な食材選び、薄味の心がけ、食べやすい切り方、盛りつけ、彩り…子どもたちの「おいしかったよ！」の声が何よりの励みです。